

みいつけた！



六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

泊海岸「タタミ岩」の謎！？

☆ 名物岩「タタミ岩」を、詳しく調べてみました ☆

郷土館では、展示場の1番目に、「地史コーナー」を設置し、大地の成り立ちをご紹介させていただいております。六ヶ所ジオパーク構想を掲げ、村内8つのジオサイトを指定しています。今回、泊海岸ジオサイトを県立郷土館の島口課長さんにご指導をいただき、調査いたしました。

その中で、新発見がありました。

地質調査センターの令和3年度版の20万分の1地質図幅「野辺地」(第2版)が今年発行され、最新の研究データから、泊海岸の岩場ができたのは、今から約1,600万年±40万年前から約1,440万年前±60万年前【工藤(2020)】の海底火山によって、造られたことがわかりました。そして、名物岩「タタミ岩」は、玄武岩質安山岩の柱状節理(柱のような割れ目)なのに、なぜ横向きなのか？(県内ではここにしかないようです)夏泊半島や津軽半島の溶岩の柱状節理は、皆、垂直に近いくらいの縦方向の節理です。鷹架層や角礫岩層の中に溶岩が貫入し、徐々に冷え固まり柱のような割れ目が入り、波の浸食によって現在の姿になったそうです。溶岩の先端部分は一部「板状節理」が見られました。

詳しくは、10月3日(日)開催予定の泊海岸トレッキングツアーで、講師に県立郷土館の島口さんを招いてじっくり観察したいと思っています。

お楽しみに！



上空からの眺め
国土地理院 HP より引用



先端部分からの眺め



横向きの珍しい柱状節理の「タタミ岩」